

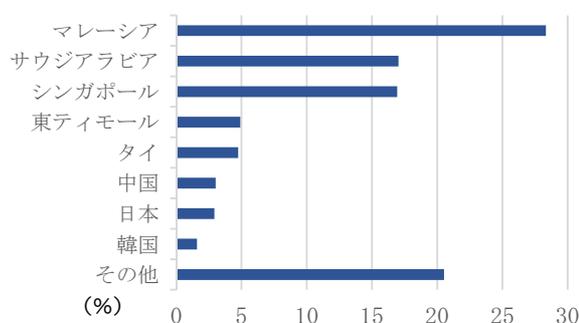
## インドネシアにおけるアウトバウンド観光の現状と 福岡・九州への誘客のヒント

バンコク事務所長 西田 光孝

### 1. インドネシアのアウトバウンド観光の現状

インドネシアから日本への観光客数は2014年の16万人から2023年は約43万人となり過去最高の人数となった。一方、九州・福岡にはインドネシアから約1.5万人が訪れており、2019年比で約1.7倍と増加しているが、同じASEAN各国の人口割合と比べるとまだ低い<sup>1</sup>。

インドネシア政府によれば<sup>2</sup>、同国からの海外旅行回数は約752万回と前年に比べて2倍以上の伸びを見せており、コロナ禍前の海外旅行需要が回復してきている。また、主に以下のような傾向が見られた。



(表) インドネシア人の2023年の目的国別訪問割合  
(インドネシア政府公表データを元に筆者作成)

- (1) 訪問者の多い割合の順に、マレーシア、サウジアラビア、シンガポール、タイ、東ティモール、中国、日本と続く。イスラムの巡礼であるハッジとウムラ<sup>3</sup>を目的とするサウジアラビアの訪問を除き、上位は距離の近さから、周辺国で占められている。東アジアである中国、日本はほぼ横ばいで、その後を韓国が追っている。(表)
- (2) 日本での平均旅行支出は、1旅行につき約2,700米ドルで、韓国や中国からの訪日客と同程度。日本へ訪れる年代で多いのは25～34歳(約41%)、35～44歳(約30%)である。またJNTOによれば、日本へは桜開花時期、レバラン<sup>4</sup>休暇、6～7月およびクリスマス前後の学校休暇時期に最も訪れている。

<sup>1</sup> 九州運輸局「九州の外国人入国者数」<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/kankou/file04.htm>  
および外務省「国別基礎データ」<https://mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>

<sup>2</sup> BPS「Outbound Tourism Statistics 2023」  
<https://www.bps.go.id/id/publication/2024/06/18/a14ac9b0d02a074aac856dfb/statistik-wisatawan-nasional-2023.html>

<sup>3</sup> イスラム教におけるメッカを訪れる巡礼であり、ハッジを大巡礼、ウムラを小巡礼という。

<sup>4</sup> イスラム教の断食明け大祭のことで、その際に取りる休暇をレバラン休暇という。

## 2. 福岡・九州観光に関する現地の反応

日本や福岡・九州観光に関するニーズはどうか。ジャカルタで行われた旅行商談会・旅行展示会への参加および現地旅行会社との意見交換によると、現地旅行会社からは「東アジアでは最近中国の人気の高い。日本と韓国は同程度だ」との意見があったほか、日系旅行会社からは「九州の認知度はまだ高くないが、インドネシアの方が好きな写真撮影映えするような観光スポットについて訴求をすることは重要だ」とのコメントもあった。認知度の低さはあるものの、モデルコース情報の要望もあり、福岡・九州への関心の高さをうかがわせる状況が確認できた。



(写真) 旅行展示会「KOMPASS TRAVELFAIR」  
(筆者撮影)

## 3. 福岡・九州の認知度向上に向けた取組

直行便や受入対応の課題については、それぞれ路線誘致活動やハラル対応、祈祷室の設置などを引き続き行う必要はあるが、同時に本県・九州の認知度向上の方策を積極的に講じる必要があるようだ。

インドネシアではソーシャルメディアに触れる時間が日本の3倍以上と非常に多い<sup>5</sup>ことや、多くは個人旅行客でOTA<sup>6</sup>ではTravelokaの利用が多いことから、個人をターゲットとしたSNSを活用した情報発信が効果的だ。Traveloka社の担当者は「動画等で料理体験のコンテンツを好む人が多く、ハラル対応のものがあるとなおよい」と話す。また、WEBサイトで日本旅行に関する情報発信も行うKOMPAS社の担当者によると「観光スポット、モデルコース、交通手段などに関する情報について提供すると効果的だ」とのアドバイスをいただいた。

さらに、JNTO ジャカルタ事務所中島上席次長からは「インドネシアの方は買い物が好きで、ショッピング、特にアウトレット店を加えたモデルルートに興味がある。なお、ジョギングやサイクリングを行う人が増えたことから、当地旅行会社では自転車ツアーなどへの関心もあるようだ」との話があった。今後、県内のショッピングに関する情報とともに、サイクルツーリズムなどのSIT<sup>7</sup>に関する情報も、福岡県バンコク事務所からSNSを通じて発信することも検討したい。

当事務所では今後もインドネシアからのインバウンドの動向を注視するほか、現地関係機関ともコンタクトをしていく予定である。現地の情報提供を希望される場合はお気軽にご連絡をいただきたい。

<sup>5</sup> DATA PORTAL 「The time we spend on social media」 <https://datareportal.com/reports/digital-2024-deep-dive-the-time-we-spend-on-social-media#:~:text=Research%20from%20GWI%20reveals%20that,per%20day%20using%20social%20platforms.&text=0n%20average%2C%20that%20means%20that,attributed%20to%20social%20media%20platforms.>

<sup>6</sup> インターネット上だけで取引を行う旅行会社のこと

<sup>7</sup> 特別な目的に絞った旅行のこと。Special Interest Tour の頭文字の略